

1. 内外政

- ・16日、ドドン社会党党首は、国民に大統領を選出する権利を付与すべき旨発言。
- ・17日、ゲルマン外務・欧州統合相は、ベルリンにおいて、シュタインマイヤー独外相と会談し、2国間協力及びモルドバ・EU関係等を議論。
- ・17日、欧州議会は、モルドバのための貿易特惠処置及び欧州向けモルドバ産青果物の一部の関税排除に関する決議を採択。
- ・18日、レアンカ首相代行は、ブリュッセルにおいて、トゥスク欧州議会議長と会談し、モルドバの新与党連合の活動の基本は改革の続行とEU加盟候補国となることである旨発言。

- ・19日、フィラト自由民主党党首及びルプ民主党党首は、モルドバ社会を団結するには共産党との対話を行う必要がある旨発言。
- ・19日、レアンカ首相代行は、ブリュッセルにおいて、シェフチョヴィチEU上級代表と会談し、モルドバのエネルギー供給源の多様化につき議論。

2. 経済

- ・16日、国家統計局は、本年1～9月期において、昨年同時期比でGDP成長率が4.7%の817億レイであった、2014年の第3四半期においては、実質GDP成長率が5.9%であった旨発表。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)